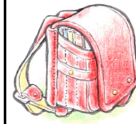




学校だより



6月号

令和6年5月31日
江戸川区立瑞江小学校

多くの応援に感謝

校長 牧岡 優美子

毎朝、南門で子どもたちを迎えると、元気な「おはようございます」の挨拶であふれます。瑞江小の子どもたちはもちろんですが、中学生や出勤途中の地域の方も挨拶してくれます。これはこの地域の伝統、良さだと思います。門には、安全の見守りボランティアを20年間以上続けてくださっている中さんもいます。子どもに負けない大きな「おはようございます」の声、毎朝ありがたいです。

5月18日(土)の運動会は、子どもたちが力一杯走り、表現し、応援し合い、その姿を保護者・地域の皆様が大きな声や拍手で応援して下さり、素晴らしい運動会になりました。当日は一気に夏へ突入したような暑さで、まばゆい日差しが降り注ぎました。熱中症対策として、冷感タオルやネッククーラーを使用し、校庭の水撒き、水分補給、演技後の冷房休憩など、考えられる限りの対策を取りました。PTAさんからは、子どもたちの座席に12張りのテントも貸していただきました。テント下でも33℃でしたが、全校児童を直射日光から守ることができました。

また、PTAボランティアの方々やグディーズの皆さんが残って、テントや長机等ほとんどの片付けをやってくださいました。定刻に児童が完全下校できたのも、そのおかげです。本当にありがとうございました。



花ボランティアの皆さんが、広い校庭の南側にある「みずえの園」で、花や野菜を育ててくださっています。先日は1.2年生と仲よし学級が、サツマイモの苗植え体験をさせていただきました。花ボランティアさんも「子どもさんたちのうれしそうな顔を見ると、頑張れるよね」と言ってくださいます。秋の収穫を楽しみに、子どもたちも草むしりなどを頑張ります。

読み聞かせボランティアの皆さんが、朝読書の時間に教室で読み聞かせをしてくださっています。先日は、体育館のステージで全校児童に向けて、読み聞かせをしてくださいました。今はDVDやデジタル音源が売られていますが、やはり生の読み聞かせは違います。聞き手の様子に合わせて間を入れたり、声の強弱を変えたりする、これは機械にはできません。コロナ禍で、ボランティアの人数が減ってしまったとのこと、今からでも参加してほしいとおっしゃっていました。



多くの応援に支えられて、瑞江小の子どもたちはのびのびと育っています。その全てに感謝しながら、これからも力を尽くしてまいります。